

平成29年度行政事業レビューシート (法務省)

事業名	更生保護情報トータルネットワークシステムの運用			担当部局庁	保護局	作成責任者			
事業開始年度	昭和62年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課	総務課長 今福 章二			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	更生保護法(平成19年法律第88号)ほか			関係する計画、通知等	「更生保護情報管理業務の業務・システム最適化計画」等				
主要政策・施策	子ども・若者育成支援			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保護観察対象者及び医療観察対象者等に関する処遇・事件情報等をコンピューターシステムで管理・処理することにより、円滑かつ適切な更生保護行政の運営を確保するとともに、保護観察処遇等の効率化を図ることを目的としている。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「更生保護情報トータルネットワークシステム」の基幹システムである「事件管理システム」(仮釈放審理情報、保護観察情報、生活環境調整情報及び医療観察情報から成る。)の維持・更新、同システムを利用するために構築された「LANシステム」の維持・更新等を行うもの。 なお、システムの最適化を図った上で、全国の地方更生保護委員会及び保護観察所に導入しており、当該システムを利用し、保護観察対象者等の処遇・事件情報等の管理・処理を行っている。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
		当初予算	304	330	376	266	916		
		補正予算	126	153	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	139	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	▲139	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	430	344	515	266	916			
	執行額	411	334	503					
	執行率(%)	96%	97%	98%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	96%	69%	134%					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	更生保護業務庁費	266	916	サーバ新規調達及び移行に係る費用の増 次期業務システムの開発に係る費用の増 「新しい日本のための優先課題推進枠」166					
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	-	-	-						
	計	266	916						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 29年度	目標最終年度 -年度
	平成29年度において、システム化の実現により、年間業務時間数を17,733時間削減する。	システム化の実現により削減された年間業務時間数	成果実績	時間	14,560	15,033	16,099	-	-
			目標値	時間	15,033	15,033	17,733	17,733	-
			達成度	%	96.9	100	90.8	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	更生保護情報管理業務・システム最適化実施状況報告書及びシステム化による削減業務時間数(保護局試算)								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	システム化を実施する業務数	活動実績	業務数	646	646	846	-	-	
		当初見込み	業務数	646	646	846	846	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	執行額/業務数	単位当たりコスト	円	636,223	517,028	594,563	-		
		計算式	百万円/業務		411/646	334/646	503/846	-	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	更生保護活動の適切な実施(Ⅱ-6)											
	施策	保護観察対象者等の改善更生等(Ⅱ-6-(1))											
	測定指標	定量的指標					単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
		実績値					-	-	-	-	-	-	
		目標値					-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	-												
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-									
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)					単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績					-	-	-	-	-	-
目標値					-	-	-	-	-	-			
達成度					%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-													
事業所管部局による点検・改善													
	項目					評価	評価に関する説明						
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					-	-						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	更生保護行政の運営を適正かつ効率的に確保するためのシステムであり、国が実施すべき事業である。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	更生保護行政の運営を適正かつ効率的に確保するためのシステムであり、優先度が高い事業である。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					○	一般競争入札を実施することにより、競争性やコスト削減に努めている。機器保守等については、現業者者以外からの応札がなく一者応札となっていることから、他業者からも積極的に見積りを取得するなどして複数応札を目指すこととしたい。						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					有							
	競争性のない随意契約となったものはないか。					有							
	受益者との負担関係は妥当であるか。					-	-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					○	一般競争入札の推進によりコスト削減に努めており、単位当たりコスト等の水準は妥当である。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					-	-						
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					○	費目・用途については、本事業の目的に即したものに限定されている。						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-	-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-	-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					-	-							
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					○	おおむね成果目標を達成しており、成果実績は成果目標に見合っている。						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					-	-						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					○	活動実績は見込みに見合ったものと認められる。						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					○	整備されたシステムは十分に活用されている。						
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					-	-						
	所管府省名	事業番号	事業名										
			-										

点検・改善結果	点検結果	本事業は、円滑かつ適切な更生保護行政の運営を確保するとともに、保護観察処遇等の効率化を図るため、極めて重要な事業である。本事業の執行に当たっては、物品・役務等の調達に当たって、市場動向・過去の調達実績や類似調達事案等を踏まえた調達を励行し、更なる経費の縮減に努めた。
	改善の方向性	本事業については、物品の調達数量等について、更に精査し、見直しを図る。また、本事業の予算執行に当たっては、計画的な機器等の更新や一般競争入札の実施等によって競争性やコスト削減に努め、一層の経費縮減を図るよう努める。

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外である。

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の一部改善	各種調達について執行実績を踏まえた見直しを行い、経費の削減を図るべきである。
-----------	----------------------------------------

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

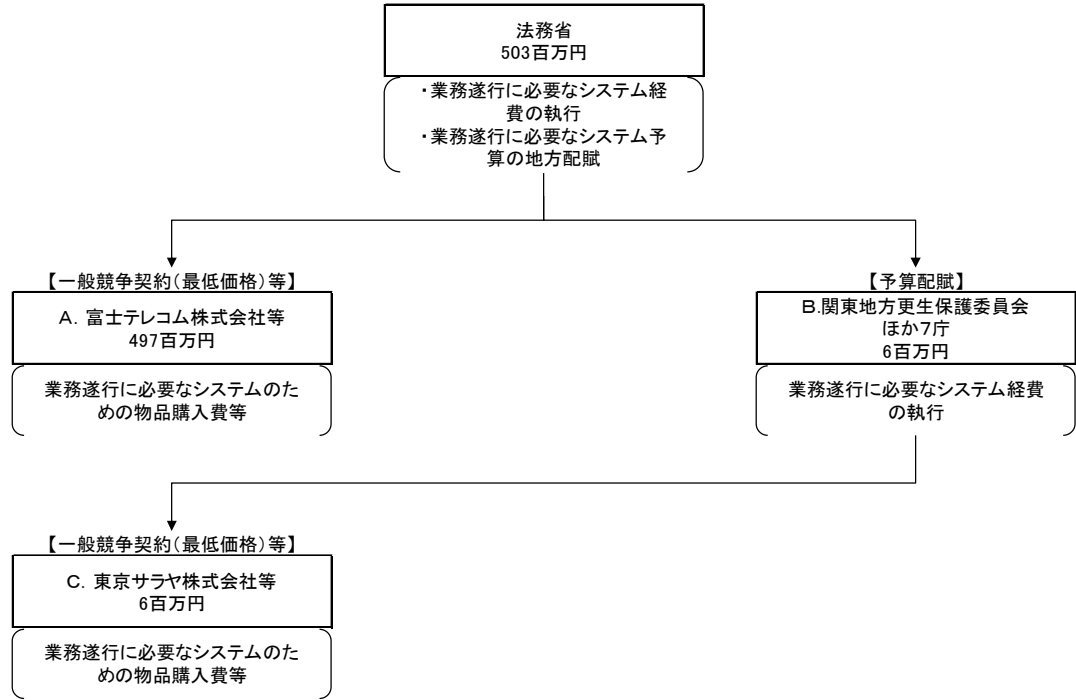
縮減	システム運用経費について、執行実績等を踏まえた見直しを行うことにより、経費を削減した。(▲5百万円)
----	----------------------------------------------------

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0054	平成23年度	0050	平成24年度	0055-1	/
平成25年度	0042	平成26年度	0034	平成27年度	0033	
平成28年度	0032					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

(注) 端数処理の関係から、一部整合しない場合がある。また、他頁の表とも、端数処理の関係から一部整合しない場合がある。

--	--	--	--

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.富士テレコム株式会社			B.関東地方更生保護委員会		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	事件管理システム改修等	245	予算配賦	会計機関への予算配賦	4
	計		245	計		4
	C.東京サラヤ株式会社			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
物品購入費	トナー等購入費	1				
計		1	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	富士テレコム株式会社	6011401007346	事件管理システムの改修等	245	一般競争契約 (最低価格)	1	98.4%	-
2	アクセンチュア株式会社	7010401001556	コンサルティング	69	随意契約 (企画競争)	4	100%	-
3	新日鉄住金ソリューションズ株式会社	9010001045803	法務省インターネット接続 共同利用基盤機器	65	一般競争契約 (最低価格)	1	97.3%	-
4	富士通株式会社	1020001071491	更生保護WANシステム運用 保守料	44	一般競争契約 (最低価格)	1	99.5%	-
5	シスコシステムズ キャピタル株式会社	4010401045416	法務省情報NW機器借料及 び通信回線使用料	33	一般競争契約 (最低価格)	3	40.4%	-
6	株式会社大塚商会	1010001012983	ソフトウェアライセンス	27	一般競争契約 (最低価格)	2	99.6%	-
7	東京センチュリー リース株式会社	6010401015821	事件管理システム機器の リース料等	10	一般競争契約 (最低価格)	1	98.6%	-
8	日本電気株式会社	7010401022916	ウイルス対策ソフトウェア	1	一般競争契約 (最低価格)	6	97.9%	-
9	ソフトバンク株式会 社	9010401052465	法務省インターネット接続 サービス	1	随意契約 (その他)	-	-	-
10	株式会社ヴァル研究 所	1011301008928	駅すばあとイントラネット版	0.4	随意契約 (少額)	-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	関東地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	4	その他	-	--	
2	中部地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	1	その他	-	--	
3	東北地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	0.5	その他	-	--	
4	九州地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	0.3	その他	-	--	
5	北海道地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	0.2	その他	-	--	
6	四国地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	0.1	その他	-	--	
7	近畿地方更生保護委員会	-	会計機関への予算配賦	0.1	その他	-	--	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東京サラヤ株式会社	4010701006514	消耗品の購入費	1	一般競争契約 (最低価格)	7	24.9%	-
2	株式会社富士通マーケティング・オフィスサービス	7010001084893	消耗品の購入費	0.9	一般競争契約 (最低価格)	3	77.2%	-
3	富士ゼロックス株式会社	3010401026805	備品の修繕費	0.5	随意契約 (少額)	-	--	
4	株式会社文武堂	6110001004917	消耗品の購入費	0.4	随意契約 (少額)	-	--	
5	理想科学工業株式会社	9010401031452	消耗品の購入費	0.3	随意契約 (少額)	-	--	
6	株式会社石田文具	8440001000121	消耗品の購入費	0.2	随意契約 (少額)	-	--	
7	株式会社原誠文堂	8470001003427	消耗品の購入費	0.1	随意契約 (少額)	-	--	
8	株式会社東京ディエスジャパン	9010501009365	消耗品の購入費	0.1	随意契約 (少額)	-	--	
9	株式会社山形測器社	4390001001921	消耗品の購入費	0.1	随意契約 (少額)	-	--	
10	リコージャパン株式会社	1010001110829	備品の修繕費	0.1	随意契約 (少額)	-	--	